

令和4年9月29日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直 通：257-6972
--

令和4年度病害虫発生予報第7号について

今後 発生が予想される大麦、果樹、野菜・花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 9月下旬～10月下旬

2 予報内容

(1)大 麦

オオムギ黒穂病類の発生は**やや多**と予想される。種子の消毒を実施する。

(2)果 樹

カキ炭疽病の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の薬剤防除および罹病した果実の処分を徹底する。

(3)野菜・花き

軟腐病の発生は**多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

ネギハモグリバエの発生は**多**と予想される。発生初期の防除を徹底し、抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガの発生は**やや多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

※ 病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止を徹底する。